



白色と茶色でリズムをつけた外観



上 | 園全体の様子を感じられる職員室前の空間 下 | 自発的・主体的な遊びを誘う遊戯室

子どもたちの好奇心を刺激し自然の光が溢れる施設 ひばりが丘明星幼稚園

設計・監理：サン設計事務所

本施設は隣接して建っていた幼稚園と教会を合築し、定員130名の幼保連携型認定こども園と80名程度が礼拝できるプロテスタント教会として計画された。

外観は白を基調にし、こげ茶色と明るい茶色でリズムをつけ、シンプルで清潔感のあるデザインとした。玄関前に大きなエントランスを設け、登園時の子どもたちの安全確保に配慮し、教会の入り口と隣り合わせることで、地域とのつながりを身近に感じられる施設となっている。玄関から2階に向かい、導かれるようにつながる緩やかな曲面に沿った階段や、子どもたちだけが通り抜けることのできるトンネルを配置することで、好奇心をくすぐる空間を構成。職員室からは玄関・下足コーナー・保育室などを見渡すことができ、また階段の吹き抜けを通して2階の子どもたちの気配も感じることができ、点にも配慮した。パントリーには2つの出入口を設け、職員の動線を回遊型にして使いやすくなるよう計画。また保育室や廊下には大きな窓やハイサイドライトを設け、建物中央部でも明るい空間となるようにし、子どもたちが自然の光の中で元気に動き回れるよう配慮している。

これらのプランや配置計画は、子どもたちの創造力や運動機能の向上など、幼児教育に必要な要素を兼ね備えるだけでなく、そこで働く職員の管理労力を減らすことも目的としている。

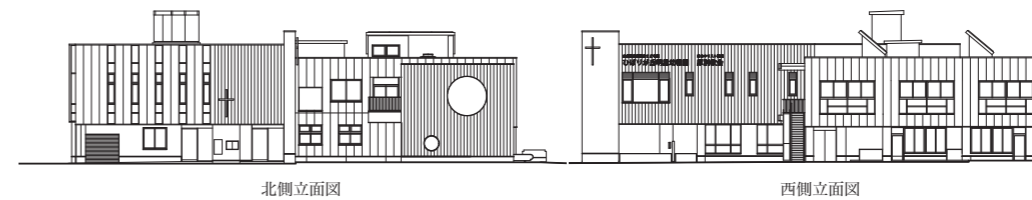
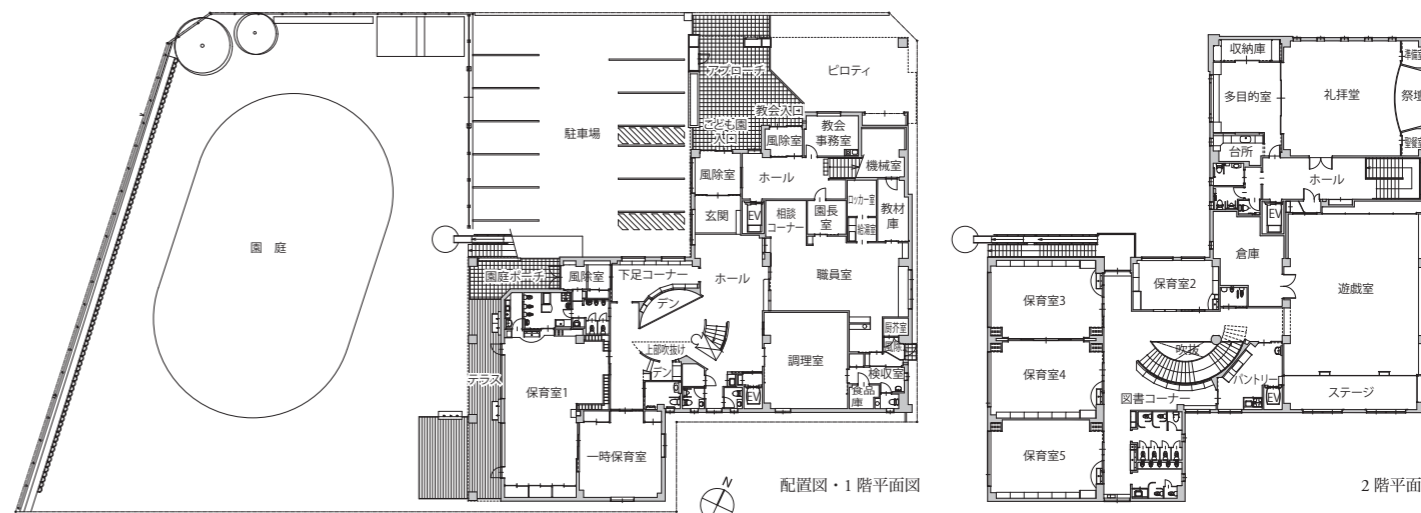
(飯田 満)



子どもたちの好奇心を刺激するトンネル



緩やかな曲面デザインの階段



所在地	北海道札幌市厚別区 厚別中央2条4-1-10
建築主	学校法人北海道キリスト教学園
用途	認定こども園(幼保連携型)
定員	130名
設計担当	中塚正寛
施工	建築：松本組 電気：新宮電気設備 空調・衛生：ふじ研究所
構造・規模	S造 地上2階
敷地面積	2,210.54㎡
延床面積	1,410.62㎡
竣工	2017年3月



木目デザインでやわらかな印象のトイレ

column

3歳未満児と3歳以上児を分断せず、「園全体が一体でありたい」というのが最大の希望でした。それが見事に建物中央に円を描くようにつくられた階段と、その下の遊び心満載の空間で解決されました。ゆるやかに明るい階段とその周りは、子どもたちのお気に入りの遊び場。0歳～5歳までが、毎日交わって遊んでいます。見渡しのよいこの空間のおかげで、園児だけでなく教師集団も全体が一つにまとまっています。

(ひばりが丘明星幼稚園 副園長 山崎三由紀)